

佐生修郎(さしゅう・しゅうろう)は就労ビザ専門会社で働くコンサルタント。その幅広い知識と長年の現場経験、それに深い洞察に基づきさまざまなアドバイスを行い、数々の困りごとを解決してきた。座右の銘は「真面目に不真面目」。

大谷翔平 大変だ、大変だ、新しく赴任してきた駐在員たちの新生活が始まるよ。

佐生修郎 全員が良い面構えをしているね。大活躍してくれそうだ。

大谷 これからの駐在員生活を安全に安心して過ごしてもらえるように、その心得を彼らに伝えたい。何をどう言えば良いのかなあ？

佐生 まずは「あなたはインドネシアにおいては外国人」ってことだ。

大谷 ええっ。言われてみれば当たり前だけど、日常では意識していなかったなあ。

佐生 滞在するには滞在

許可証(通称ITAS)もしくはKITAS)が必要だ。そして、就労するには別途に就労許可証(通称I

帯しておく義務があるよね。オリジナルはpdf形式ファイルだからスマホに入れておいても善し、紙に印刷し縮小コピーをパウチしてカード化して財布に入れておいても善し。

佐生 翻って、IMTAは携帯義務はない。だから会社保管でも良いけど、一度はIMTAを視て、就労場所や役職名などの内容を自身の目で確認しておく事が大切だ。

大谷 ITASの期限日もしっかり視て、来年のIMTA・ITASの延長への備えを意識して欲しいね。

佐生 ITAS期限日の2カ月前になったら会社の総務人事(ビザ担当者)にIMTA・ITASの延長申請を開始するように促した方がよいぞ。

大谷 駐在の途中で家を引っ越したら、ITAS上の登録住所を実住所に合致させるようITAS住所変更の処理をする。それもビザ担当者に依頼しなくてはね。

佐生 さよう。加えて、インドネシアに貢献することも制度化されているぞ。

大谷 TKI PENDING(インドネシア人随行者)制度の事だね。自身の知識やスキルをインドネシア人社員へ移転することが求められている。

佐生 紐づきのスキル移行先インドネシア人社員(随行者)が指名されているから、自分は誰に何を移行すべきなのかは知って意識しておくことが大切だ。

大谷 どこまで本気で実行するかは会社によって温度差があるけどね。

佐生 インドネシアは「国防と国益」をしっかり認識できている主権国家だ。「やばい人は入国させない」「役に立つ人だけを入れる」「勝手な事をした

ら承知しないぞ」「用事が済んだら早く帰れ」と、この4つを意識して外国人を管理監督している。

大谷 とはいえ、ジョージ・オーウェルの「1984」で語られる監視社会ではないよ。毎年のIMTA・IMTA延長の審査を通して変化や動向を把握されたり、時々行われる立入検査や呼出検査とか、そんな活動を通して管理・監督されている程度だと思おうよ。

佐生 さよう。基本的な考え方を知り、守るべきルールはしっかり押さえておけば怖くない。その上で自身のパフォーマンスを公私にわたり最大限に発揮して、所属会社やインドネシアの日系社会、そして日本の発展に貢献して欲しい。それが、ひいては世界平和に寄与することに繋がっていくから。頑張っ

てね。新しく赴任された駐在員たちに愛をこめて。

こいけ・ゆういち FPCインドネシア代表取締役。89年学習院大卒、日本アイ・ピー・エム入社。フジスタップへ転職後インドネシアでの事業開発を手掛ける。帰国後に独立。「夢ある街のたいやき屋さん」FC経営を経て、12年8月より現職。栃木県生まれ。59歳。

※本連載は、実際に起きた事例を参考に、インドネシアに滞在、就労する上で気を付ける点について説明するもので、登場人物や事象はフィクションです。実際の事案に対応する場合は、専門家に相談の上、各自のご判断でご検討ください。

「修郎先生の事件簿2」は、原則、毎月第1水曜日に掲載します。

# 修郎先生の事件簿2 特別編



小池雄一氏

～就労ビザ専門会社の現場から～

## 「滞在許可?! 就労許可?!」

MTAもしくはPENGE SAHAN RPTKA)が必要だ。  
大谷 ITASは常時携

佐生修郎 心得えの条

一 まずは「あなたはインドネシアにおいては外国人」という事を意識して、ITAS滞在許可証、IMTA就労許可証の内容を視ておくこと。

二 基本ルールを守り、自身のパフォーマンスを最大限に発揮して、日本の発展とひいては世界平和へ貢献すること。